

令和7年度 学校経営方針

荒川区立諏訪台中学校
校長 出井 玲子

I 本校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを通して、広く国際社会に生きる人間の育成を目指す。

- ・豊かな心をもち、思いやりのある生徒
- ・自ら考え、進んで学ぶ生徒
- ・心身ともに健康で、たくましい生徒
- ・地域とともに学び、地域を愛する生徒

II 目指す学校像

- ★「一人ひとりが輝く学校 ～今、そして将来にわたって～」
『あいさつ』と『笑顔』あふれる学校

III 「荒川区学校教育ビジョン」令和6～8年度の中長期目標
未来を拓きたくましく生きる子どもを育成する

3つの方向性

- 【1】子ども一人ひとりのよさを伸ばし、学力を高める。
- 【2】多様性を重視し、豊かな感性や創造力を育む
- 【3】基本的な生活習慣を形成し、健全な心身を培う

IV 本年度の重点目標

「確かな学力の定着・向上を図るとともに、豊かな人間性の育成に努める。」

- 1 学び方指導と家庭学習により、生徒が自ら学力を身につけることで、学力の定着・向上を図る。
- 2 SDGsの学びを学習と生活のベースに、持続可能な社会の作り手を育む。
- 3 学校図書館やICT機器の活用により学習意欲と情報活用能力の向上を図る。
- 4 奉仕活動、職業体験等の充実により、社会性を育成することで、豊かな人間性を醸成する。
- 5 外部人材等の活用により、広く社会を学び、教育活動全体の充実を図る。
- 6 外部機関との連携も図り、全ての生徒が安心して学べる機会を確保する。

V 指導の重点

上記の重点目標について、学校パワーアップ事業を有効に活用しながら、組織的な実践により具現化を図る。

1 学びの“場”を保障する学校づくりで、確かな学力を（「学力向上マニフェスト」等を活用して）

①★指導力の向上と指導方法の改善・家庭学習の充実

・デジタル教科書やタブレットPCの活用や持ち帰りにより、指導力の向上と改善を図る。★学習記録作成

②★学校図書館の活用

・授業での図書館活用や「調べる学習コンクール」「ビブリオバトル」等、読書行事の充実。★読書記録作成
・デジタル教科書やタブレットPCの活用や持ち帰りにより、指導力の向上とその改善を図る。

③★『あらかわ寺子屋』事業の充実（外部指導員の活用）

・諏訪台中3つの「てらこや」★（①自学自習、②各種検定対策、③長期休業）の充実を図る。

★教員による試験前学習会は継続

2 文化的で教養のある学校づくりで、豊かな人間性を★（「想像力あふれる教育の推進」等を活用して）

① 文化的活動・表現活動の充実

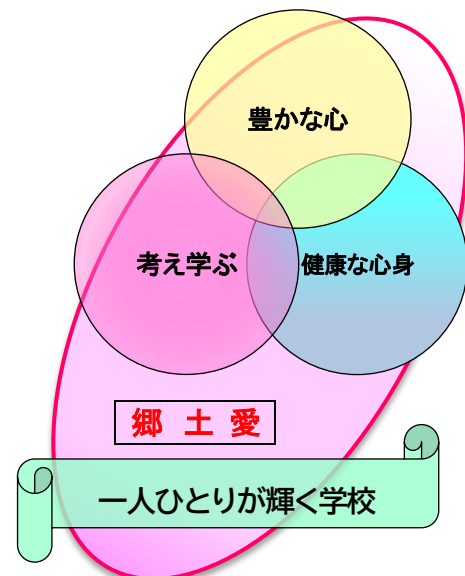
・合唱や演奏、演技表現などの音楽活動や発表活動に、専門家指導の導入することで、技術レベルの向上を図るとともに、芸術表現の美しさや共同体験の楽しさなどを味わわせる。

② 人間力を育てる指導の充実

・hyper-QU を活用した集団や個の客観的理解に基づく学級満足度と意欲の向上、生徒理解個の見取り互いを尊重する姿勢と規範意識の醸成を図り、人間性を育む教育の充実を図る。

③ 個性を伸ばす教育の充実

・読書活動の推進や日本語指導の充実、部活動の推進等により、一人一人の個性を伸ばし、支援する教育



の充実を図る。

④ 英語教育の充実

・英語での会話の日常化や英語検定の奨励等により、指導体制の充実と学習意欲の向上を図る。

3 関わりを大切にする学校づくりで、社会の一員としての力を(「未来を拓く子どもの育成」等を活用して)

① キャリア教育の推進

・「校内ハローワーク」等、キャリア教育に関わる取組を継続推進することで、社会的自立・職業的自立に向けて、必要な意欲や態度、能力の育成を図る。

② 奉仕の精神の醸成

・JRC活動や地域貢献活動、学習環境整備の取り組むことで、社会貢献意識や奉仕の精神の育成を図る。
・防災部を中心に、地域と連携した防災教育活動に取り組むことで、防災意識の向上とその実践力を養う。

③ 地域と関わる教育活動の充実

・地域人材を導入・活用することで、その充実を図るとともに、地域・社会の一員としての自覚をもたせる。

4 生徒(生活・進路)指導を通して(生徒の心と体の成長を支える)

① 生活指導(「社会生活で通用する」態度・習慣を)

・信頼関係を基盤に …生徒「認め・励まし・褒め、支える」、保護者「共に育てる」
・軸をつくる指導を …「時間・あいさつ・みだしなみ」、「規範意識」、「自尊感情」
・組織的な対応で …「共通理解・共同実践」、「早期発見・早期対応」★「ほう・れん・そう」記録徹底

② 進路指導(「社会で働いていく」ための生き方指導を)

・キャリア教育の視点で…「基礎的・汎用的能力の育成」
・軸をつくる指導を …「望ましい勤労観・職業観」
・組織的な対応で …「進路学習部が中心となり」、「発達段階に応じ」、「系統的・計画的に」

③ 特別支援教育(「学ぶ喜び」をすべての生徒に)

・UDの視点で …「すべての生徒が安心できる環境の整備」
・軸を作る指導を …「わかる授業作り」、「落ち着きある学校生活」
・組織的な対応で …「研修の強化」、「共通理解・共同実践」

④ ★不登校1生徒の対応の充実

・不登校対応拠点・巡回校 サポートルームの対応(学校の窓口・登校サポートスタッフ)、SC、SSW

VI 組織・運営

1 円滑・適切な学校運営

- ① 校務分掌に基づき、組織的な運営を行う。
- ② 円滑な運営のため、主幹・主任は所管分掌等の進行管理、状況把握・確認を行う。
- ③ ★「報告・連絡・相談」、「確認・報告」記録を徹底し、より適切な学校運営に努める。
- ④ 学年間での確実な情報共有

2 研究・研修

- ① 課題意識に基づき、校内研修等を活用し、教科等の指導力の向上を図る。
- ② 荒川区教育委員会の研究指定を活用し、SDGsに関する教育を推進し、総合的な学習、道徳、各教科との連携を図る。
- ③ キャリアプランに応じ、OJTにより教員としてのスキルの向上を図る。

3 保護者・地域との連携

- ① 適切な情報提供や日頃の電話連絡、家庭訪問、メール配信活用等により、相互理解が深まるよう努め、保護者との信頼関係を築く。
- ② 地域人材の活用や地域行事への参加など、教育活動と関連させることで、地域との連携関係を築く。

4 服務の厳正

- ① 法令順守、勤務の厳正による服務規律の確保
- ② 服務についての月1回及び適宜の研修実施による体罰・個人情報等の服務事故防止

5 危機管理

- ① 「命を守る」という観点に立ち、緊急事態発生時の体制を確立する(事件・事故、災害、衛生管理、薬品管理、対外折衝等)。
- ② 生徒の個人情報の管理、学校事務の処理等については細心の注意を払い、適切に行う。